施工説明書

TOTO

オートクリーンC　スイッチユニット

TES46M型・TES46U型
TES47M型・TES47U型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

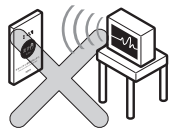
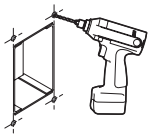
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

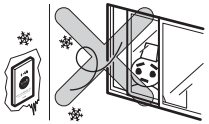
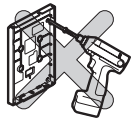
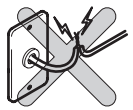
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止	**無線スイッチタイプは微弱な信号を取り扱う電子機器・医療機器を近くで使用しない** 誤作動などの影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器メーカーおよび販売業者に電波による影響について確認してください。	
分解禁止	**分解したり、修理・改造は絶対に行わない** 火災の原因になります。	
必ず実行	**施工は施工説明書に従って確実に行う** 正しく取り付けないと事故の原因になります。	

⚠ 注　意

禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所には設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性洗剤、クレンザー、磨き粉を含んだ洗剤やたわしなどは、本体を傷めるので使用しない 故障や事故の原因になります。	
	インパクトドライバーは使用しない 本体固定枠が変形し、取り付けができない場合があります。	
	商品に水をかけない 故障の原因になります。	
	信号線の加工（切断・継ぎ足し）を行わない 故障の原因になります。	

1-2

⚠ 注　意		
水場使用禁止	**浴室など湿気の多い場所には設置しない** 故障の原因になります。	
必ず実行	**作業時は手袋など適切な防護具を使用する** 予期せずけがをするおそれがあります。	

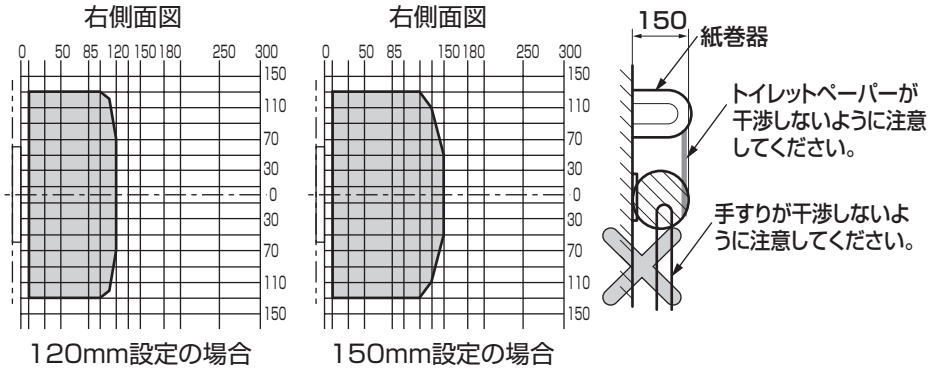
2-1 取り付け前に

（単位：mm）

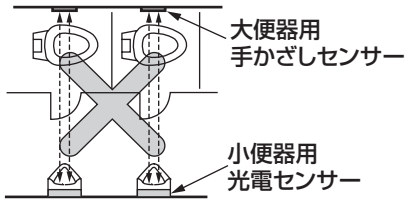
1.取付条件の確認

●下図A・Bの場合はセンサースイッチを取り付けできませんので、事前にご確認ください。

A. 下記感知領域内に障害物がある場合　※ウォシュレットリモコンは、センサースイッチと同壁で、かつ下記の感知範囲に設置しても、誤感知しません。



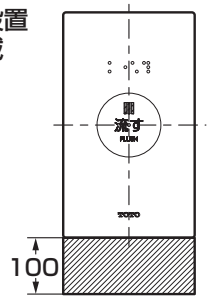
B. センサー同士が対向する場合



●施工およびメンテナンスのため、リモコン下部（右図）に障害物設置禁止領域を確保してください。

●同一壁面にセンサースイッチと音姫オートタイプとの併設はできません。
（音姫操作時の腕に反応して便器洗浄する場合があります）

障害物設置
禁止領域

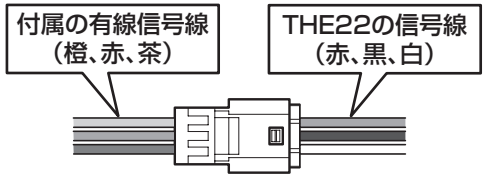


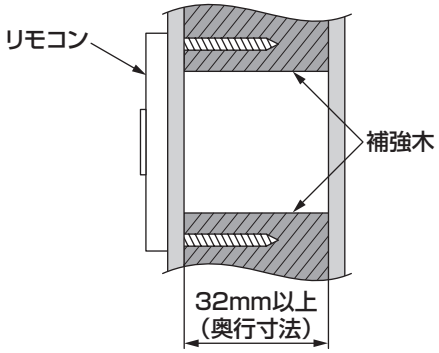
2-2

●1台のオートクリーンC本体に対して、スイッチユニットは2台まで接続できます。（ただし、無線タイプと有線タイプの併設はできません）

●オートクリーンC本体とスイッチの信号線は付属の接続コードをご使用ください。また、誤作動するおそれがありますので付属の信号線の改造による延長は行わないでください。

●リモコン有線タイプの付属の信号線は6mです。信号線が6mで足りない場合は、専用の延長コード6m（THE22）を別途手配ください。
※THE22のコネクター配線の色は有線リモコンの配線の色と異なります。





●リモコンを2個設置する場合は、専用の分岐コード（THE23）を別途手配ください。

●パーティション壁の場合は、パーティションの中に信号線（付属）が通せることを事前に確認してください。

湿式工法の場合

●現場手配の電線管、電線管コネクター、ボックスは必ず以下のものをご使用ください。
・電線管……合成樹脂製可とう電線管（JIS C8411 呼び16）
・電線管コネクター…合成樹脂製可とう電線管用附属品（JIS C8412 呼び16）
・スイッチボックス…THE24（別売品）

2.センサーについて

●太陽光が入る場所では太陽光の影響で手かざしセンサーが作動（感知）しない場合や誤作動する場合があります。

●施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。

3.その他

●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

3 仕様

タイプ	無線スイッチタイプ		有線スイッチタイプ	
	センサースイッチ	タッチスイッチ	センサースイッチ	タッチスイッチ
適用機種品番（オートクリーンC本体）	オートクリーンC本体（TEV＊型・TEFV＊型） ※ウォシュレットPSAおよび埋め込みタイプにはセット不可 ※TEF＊型にはセット不可		オートクリーンC本体（TEV＊型・TEFV＊型） ※ウォシュレットPSAおよび発電タイプにはセット不可 ※TEF＊型にはセット不可	
電源	専用リチウム電池（同梱）		オートクリーンC本体から供給	
電池寿命	月4,000回の使用で約10年		－	
信号線	－		6m	
出力	2.4GHz帯　1.3mW以下（特定小電力無線機器）		－	
感知距離	150mmまたは120mmに設定可能（工場出荷時は150mm）（白紙□300mmの場合）	－	150mmまたは120mmに設定可能（工場出荷時は150mm）（白紙□300mmの場合）	－
手かざし時間（0.5秒／1秒 切替可能）	工場出荷時：0.5秒	－	工場出荷時：0.5秒	－
製品寸法	70（幅）×120（高さ）×11.5（奥行）			
使用温度範囲	1～40℃			

※上記以外のオートクリーンC本体との組み合わせはできません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

スイッチユニット部	
タッチスイッチ	センサースイッチ
ハンガー	ハンガー
スイッチ付きカバー	スイッチ付きカバー
木ねじ（25mm×4本）	木ねじ（25mm×4本）
小ねじ（1本）	小ねじ（1本）

信　号　線	そ　の　他
コネクター（白） ※有線スイッチタイプの場合	ラベル 注意書 ※無線タイプのみ 施工説明書

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

スイッチ付きカバーとハンガーの取外方法

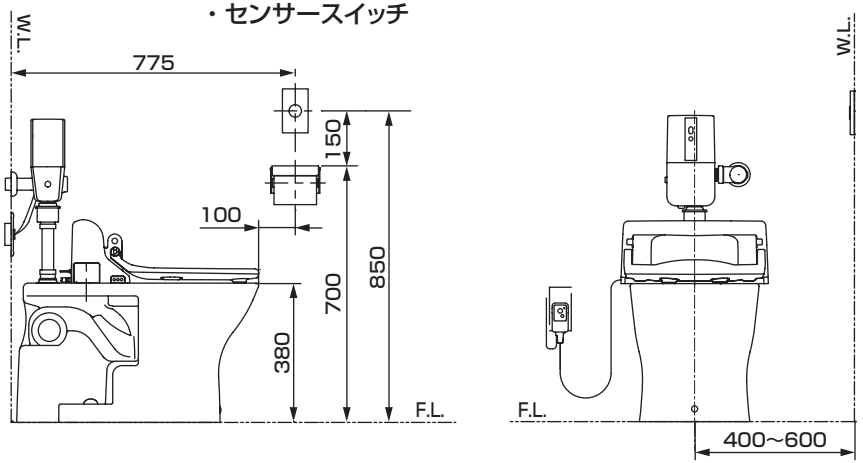
1.小ねじを外す。
（六角棒レンチ：対辺2.5mm）

2.スイッチ付きカバーを上に持ち上げ、ハンガーから取り外す。

5 完成図

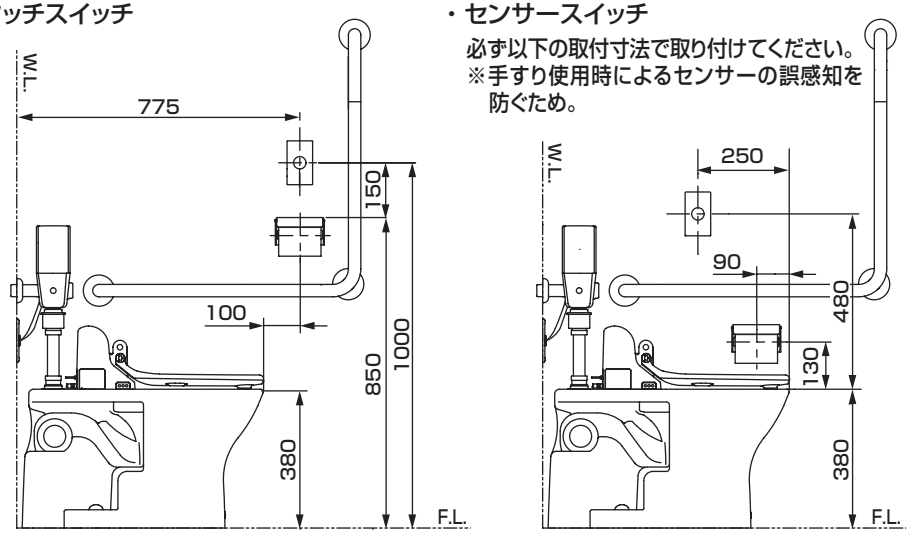
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。　（単位：mm）

<手すりがない場合>
・タッチスイッチ
・センサースイッチ

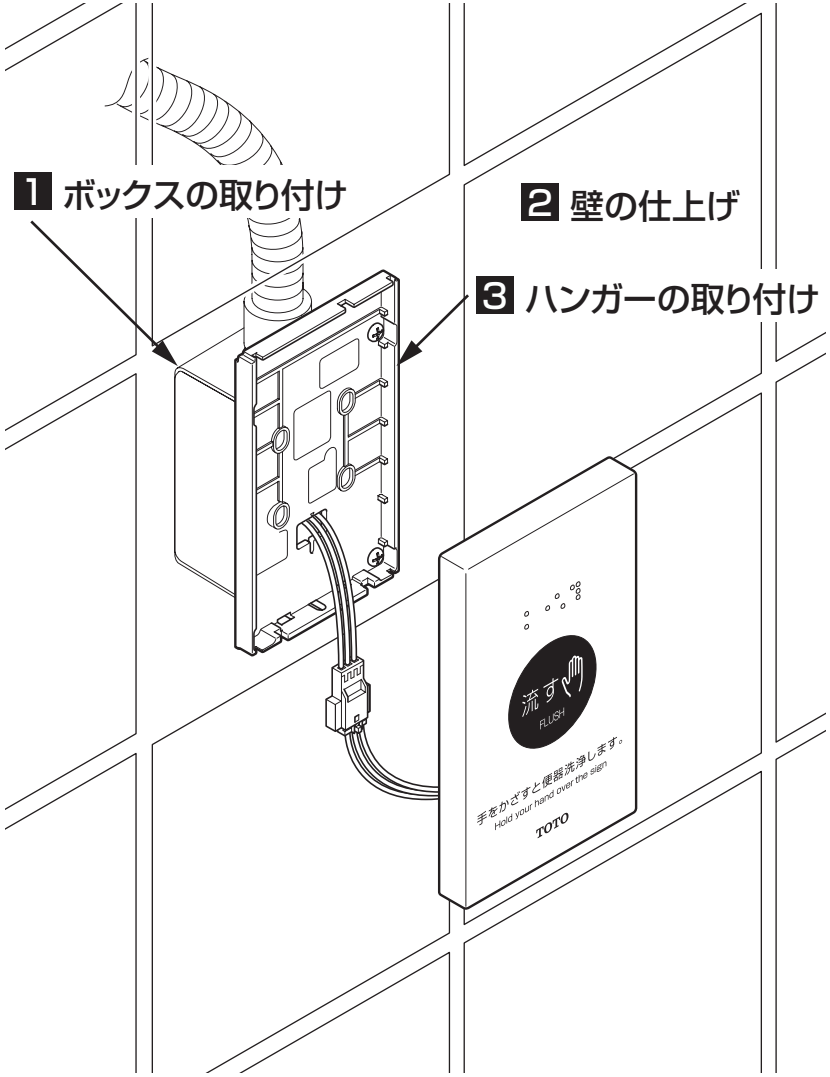


※タッチスイッチの場合は、上記寸法に関係なく押ボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。
※センサースイッチの場合は、上記寸法で取り付けてください。
周辺器具（紙巻器など）の使用時に、誤洗浄させないため。

<手すりがある場合>
・タッチスイッチ
・センサースイッチ
必ず以下の取付寸法で取り付けてください。
※手すり使用時によるセンサーの誤感知を防ぐため。



6-1 施工手順（有線タイプ湿式工法の場合）



1 ボックスの取り付け

湿式工法の場合

①下地壁に図のような開口部および中心線を正確に墨出し、はつる。

②ボックス（THE24:別売品）に電線管コネクター（現場手配）、電線管（現場手配）を取り付け後、介物やモルタルなどでボックスを仮固定する。

※現場手配部品については「2 取り付け前に」を参照してください。

注　意

●TES46U型、TES47U型の有線タイプで併設する場合は、オートクリーンC本体からの信号線（6m）並びに併設するスイッチとの信号線（6m）接続のため、ボックスに電線管コネクターを2個取り付けてください。

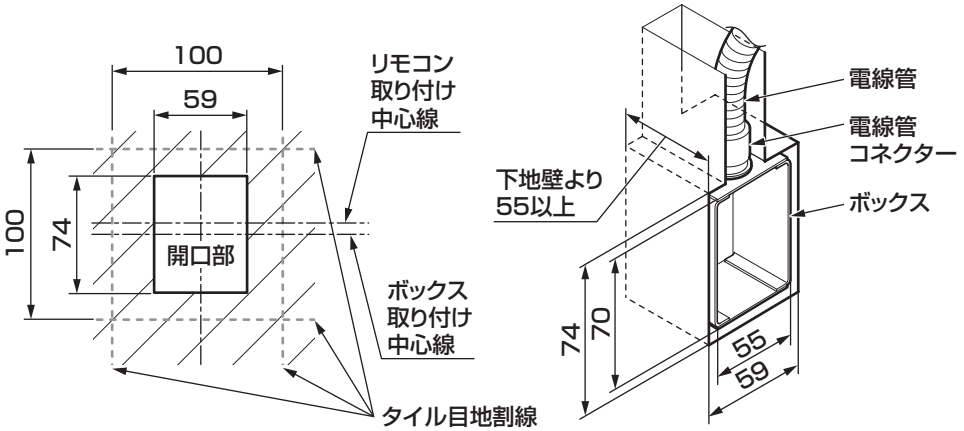
●ボックスの仮固定は下地壁に墨出しした中心線とボックスの中心が合うように正確に固定してください。

③付属の信号線をボックス内に引き込む。

注　意

信号線は開口部から最低でも100mm程度見えるように引き回してください。

（単位：mm）



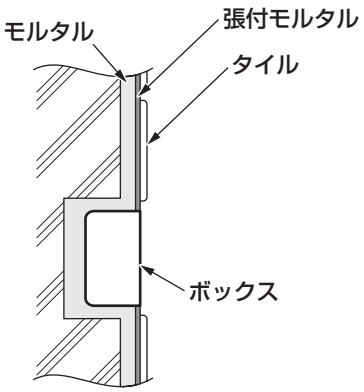
6-2

2 壁の仕上げ

①ボックスの周囲をモルタルで埋め戻す。
ボックスはタイル張付面より出ないように埋め戻してください。

②下地壁にモルタルを下塗りする。

③タイルを張付モルタルで張り付ける。



注　意

●タイルの水洗いはこの状態で行ってください。

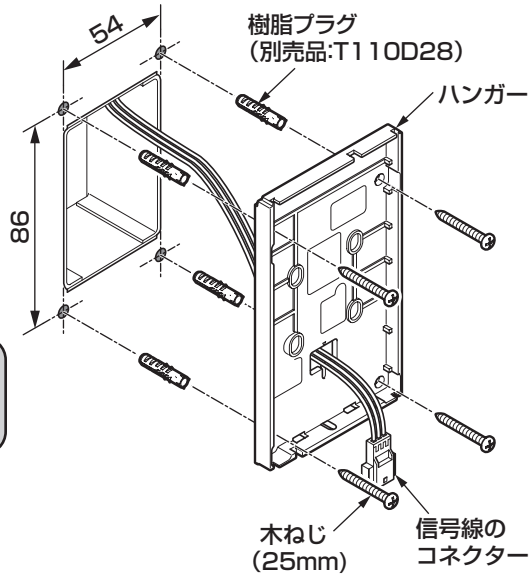
●酸洗いは器具を傷めますので行わないでください。

3 ハンガーの取り付け

（単位：mm）

①樹脂プラグ（別売品：T110D28）用にφ6の下穴を30mmの深さにあける。

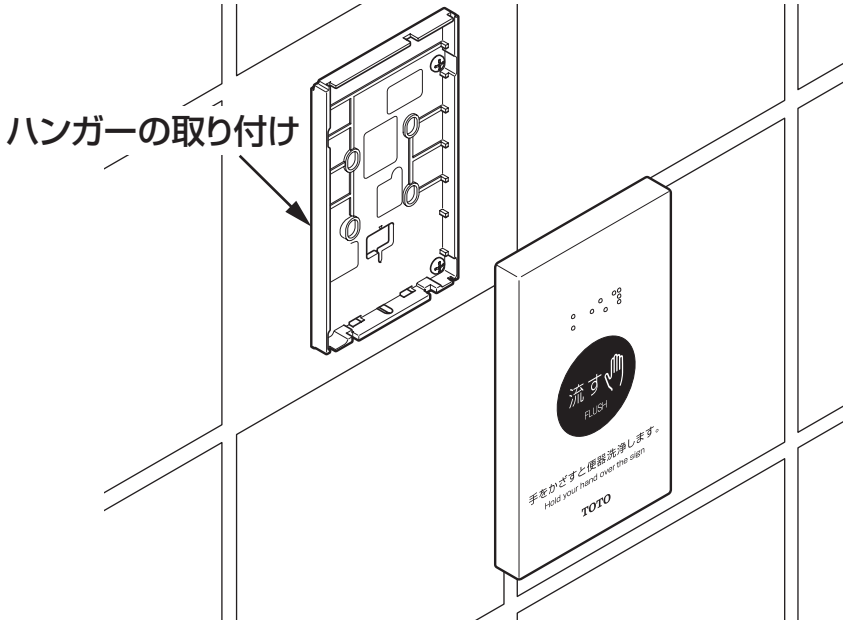
②ハンガーを木ねじと樹脂プラグ（各4本）で壁に取り付ける。
このとき、必ず信号線のコネクターをハンガーの穴に通してください。



注　意

インパクトドライバーは使用しないでください。

7 施工手順（無線タイプ湿式工法の場合）

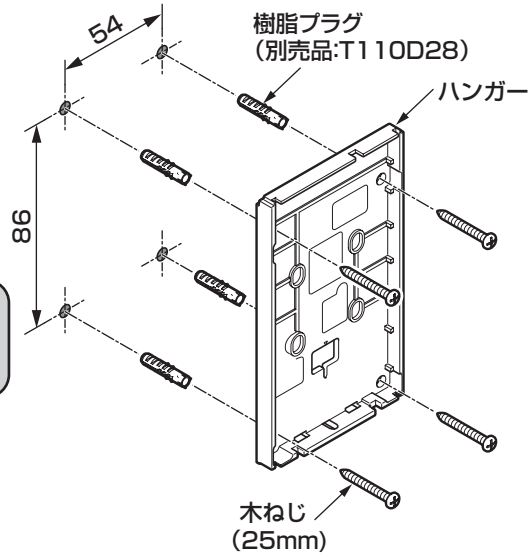


ハンガーの取り付け

（単位：mm）

①樹脂プラグ（別売品：T110D28）用にφ6の下穴を30mmの深さにあける。

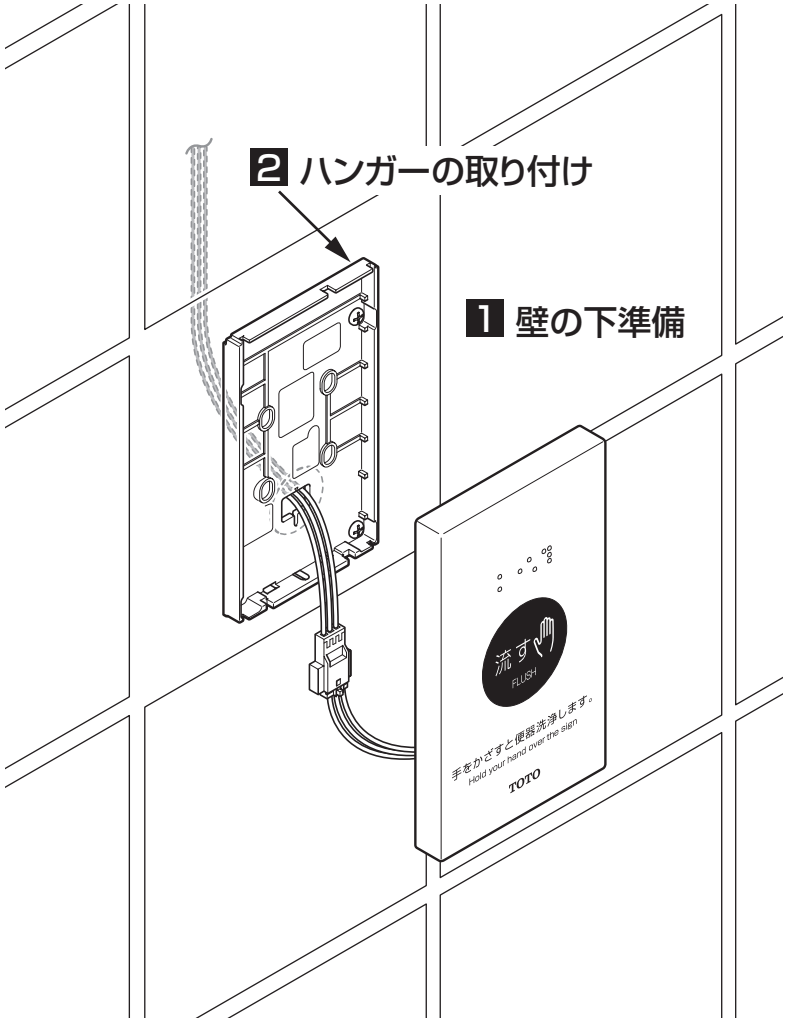
②ハンガーを木ねじと樹脂プラグ（各4本）で壁に取り付ける。



注　意

インパクトドライバーは使用しないでください。

8 施工手順（有線タイプ乾式工法の場合）



1 壁の下準備

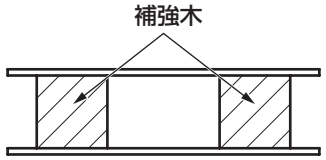
（単位：mm）

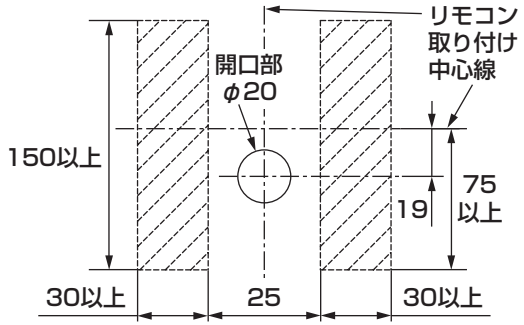
パーティション壁の場合

①取付位置に右図のような開口部を設ける。

②取付板固定用に補強木を入れる。

③信号線を取り出す。





注　意

パーティションの中に信号線が通せることを事前に確認してください。

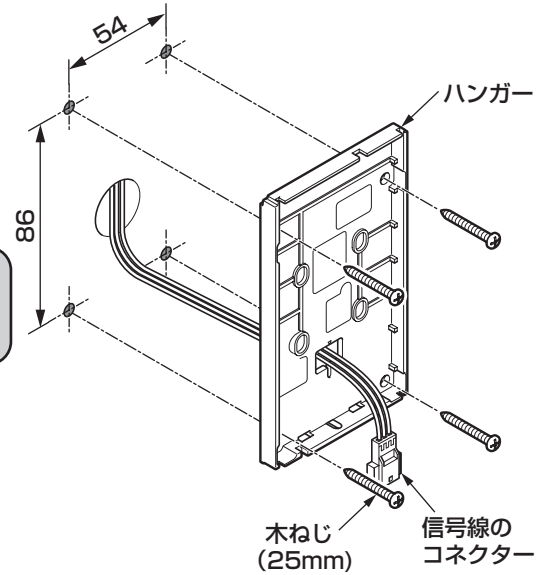
2 ハンガーの取り付け

（単位：mm）

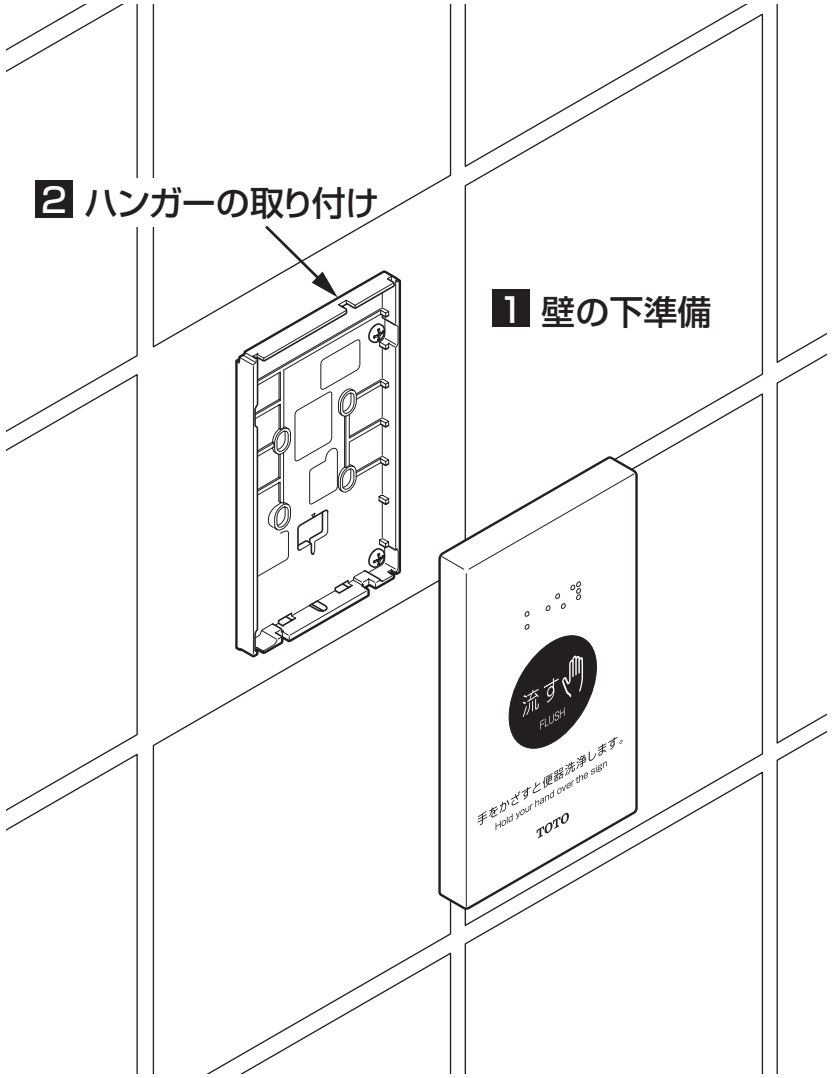
ハンガーを木ねじで壁に取り付ける。
このとき、必ず信号線のコネクターをハンガーの穴に通してください。

注　意

インパクトドライバーは使用しないでください。



9 施工手順（無線タイプ乾式工法の場合）

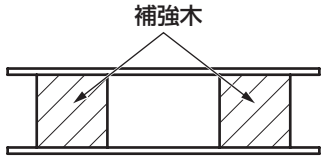


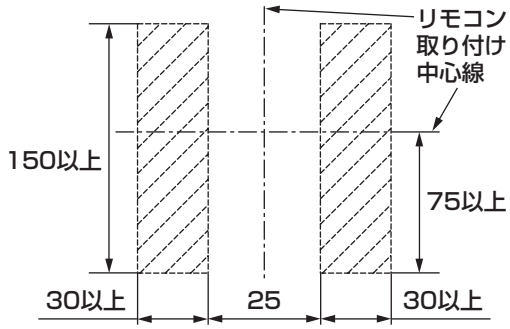
1 壁の下準備

（単位：mm）

パーティション壁の場合

取付板固定用に補強木を入れる。





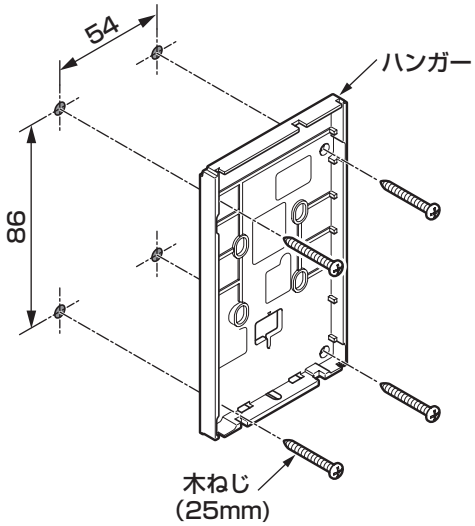
2 ハンガーの取り付け

（単位：mm）

ハンガーを木ねじ（4本）で壁に取り付ける。

注　意

インパクトドライバーは使用しないでください。



裏面へつづく

10 コネクターの接続（有線スイッチユニットの場合）

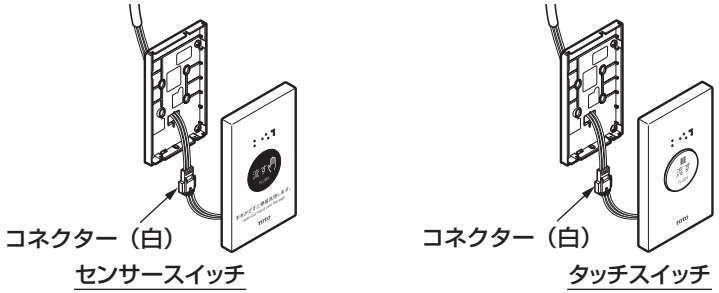
1 コネクターの接続

注　意

スイッチユニットを落下させるとコードがコネクターから抜けるおそれがありますので注意してください。

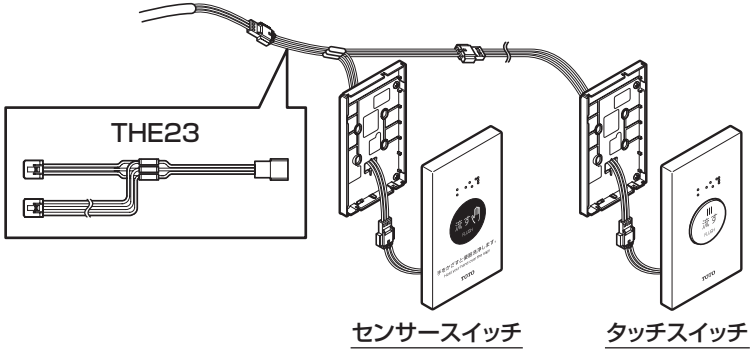
単品のみの場合（センサースイッチ、タッチスイッチ共通）

①オートクリーンC本体と中継する信号線（6m、付属）のコネクター（白色）を接続する。



有線スイッチを2個設置する

①オートクリーンC本体からの信号線に分岐コード（THE23:別売品）を接続する。
②分岐コードにタッチスイッチを接続する。
③分岐コードの片方に延長コードを取り付ける。
④延長コードに2つ目のタッチスイッチを接続する。
※有線タイプ同士の組み合わせであれば、センサースイッチとタッチスイッチの組み合わせも可能です。
※無線タイプの併設はできません。



2 コネクターの収納

接続したコネクターを開口部に戻す。

11-1 同期設定（無線スイッチユニットの場合）

無線タイプのスイッチユニットとセットする際は、必ずオートクリーンC本体とスイッチの同期設定を切ってください。

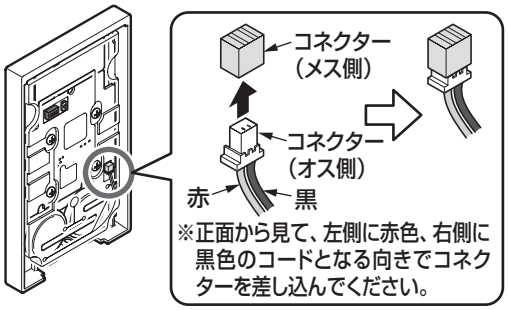
1 電池用コネクターの接続

※スイッチ付きカバーを取り付ける前に

①スイッチ部裏面の電池のコネクターを基板のコネクターに差し込む。

注　意

ぬれた手でさわらないでください。

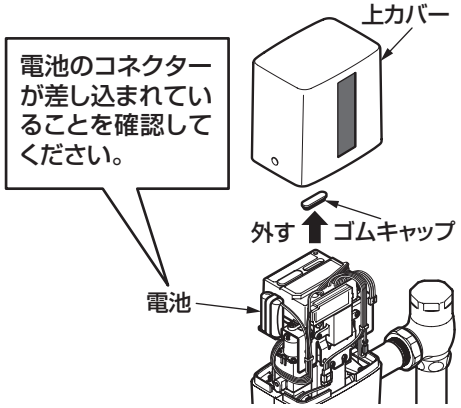


※正面から見て、左側に赤色、右側に黒色のコードとなる向きでコネクターを差し込んでください。

2-1 オートクリーンC本体側の準備

①オートクリーンC本体の上カバーを外し、コントローラー上部右側のゴムキャップを外す。

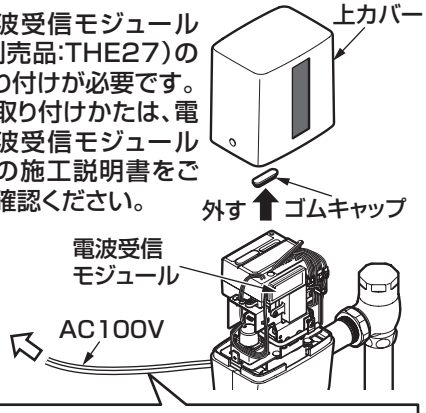
発電タイプの場合



※オートクリーンC本体の電池コネクターを挿入して約2分後に商品が作動します。
※作動直後、10分間は人体を感知すると、人体感知センサーのランプが点滅します。

ACタイプの場合

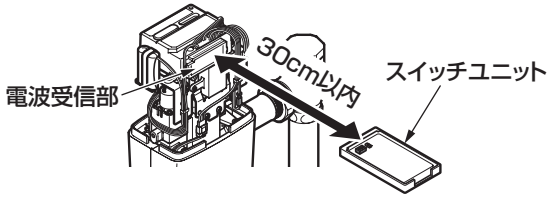
電波受信モジュール（別売品:THE27）の取り付けが必要です。
※取り付けかたは、電波受信モジュールの施工説明書をご確認ください。



電源が入っていることを確認してください。

※人体を感知すると人体感知センサーのランプが点灯します。
（人体感知センサーありの場合のみ）

②オートクリーンC本体の電波受信部とスイッチユニットを30cm以内に近づける。

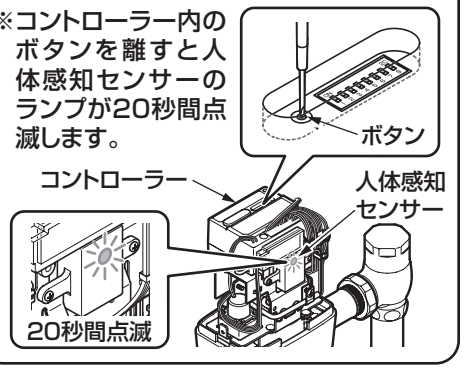


2-2 オートクリーンC本体側の準備(つづき)

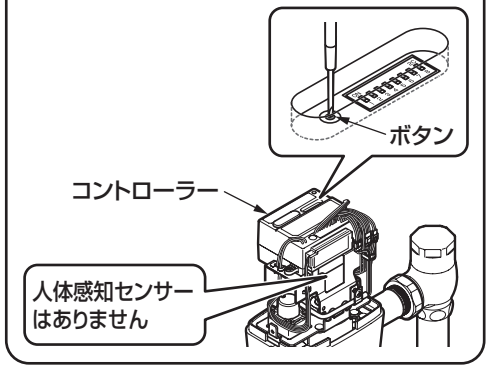
③オートクリーンC本体のコントローラー内のボタンを押す。(5秒以内)

人体感知センサーありの場合

※コントローラー内のボタンを離すと人体感知センサーのランプが20秒間点滅します。



人体感知センサーなしの場合



注　意

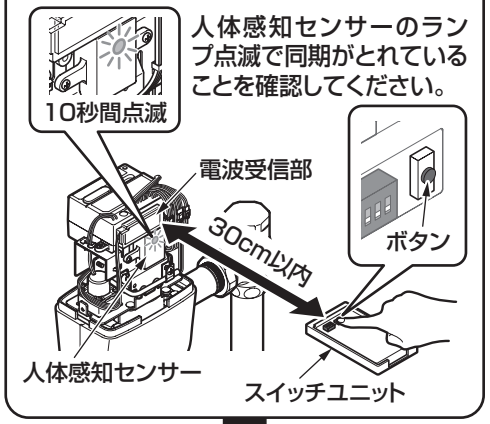
コントローラー内のボタンを離してから20秒以内に 3 同期作業を実施してください。

3 同期作業

①スイッチユニットのボタンを押す。

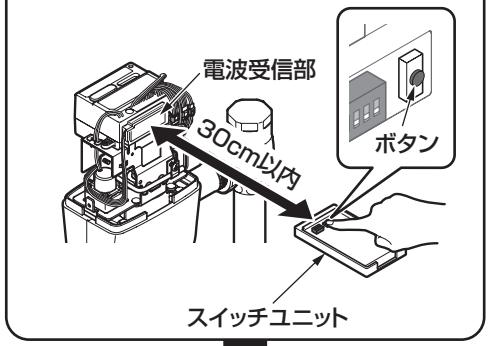
人体感知センサーありの場合

人体感知センサーのランプ点滅で同期がとれていることを確認してください。



人体感知センサーなしの場合

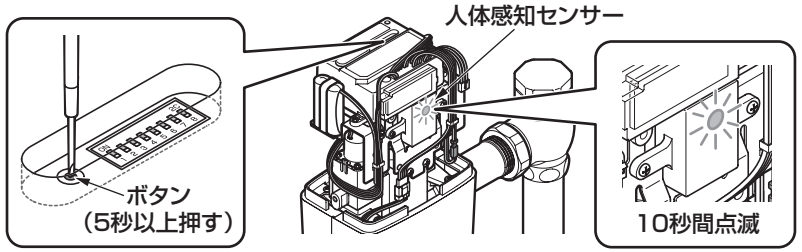
電磁弁の作動音「カチッ」が鳴ることを確認してください。



同期完了

同期を解除する場合

オートクリーンC本体のコントローラー内のボタンを5秒以上押す。
※解除後、人体感知センサーが10秒間点滅します。

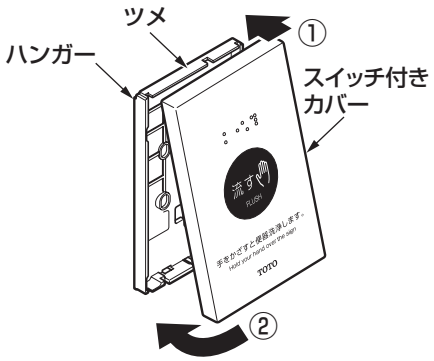


故障などの理由により、リモコンスイッチを取り替える場合は一度、同期を全消去してください。
その後、新しいリモコンで同期作業を行ってください。

12 スイッチ付きカバーの取り付け

①ハンガー上側のツメにスイッチ付きカバーの上部をあわせるようにはめ込む。

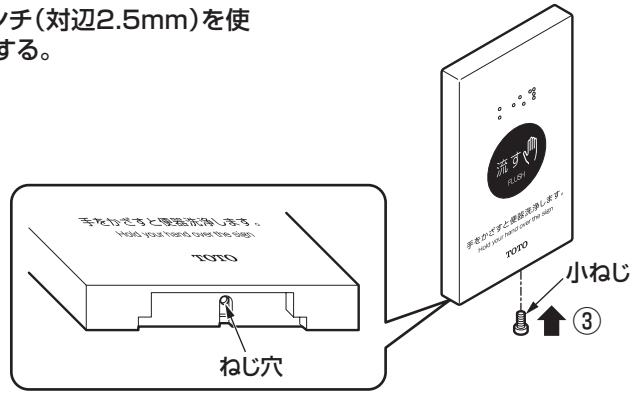
②スイッチ付きカバーを下に押し込む。



注　意

スイッチ付きカバーを下に押し込んだ状態で引っ張っても外れないことを確認してください。

③下部から六角棒レンチ（対辺2.5mm）を使用し、小ねじで固定する。



13 試運転

※試運転はオートクリーンC本体とセットで行ってください。

リモコンによる洗浄は、オートクリーンC本体の人体感知センサーの感知が2秒以上必要です。

センサースイッチの場合

便器に2秒以上座り、手かざしセンサーから5cm以内に約2秒手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。
ただし、1度洗浄しますと、無駄な洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

タッチスイッチの場合

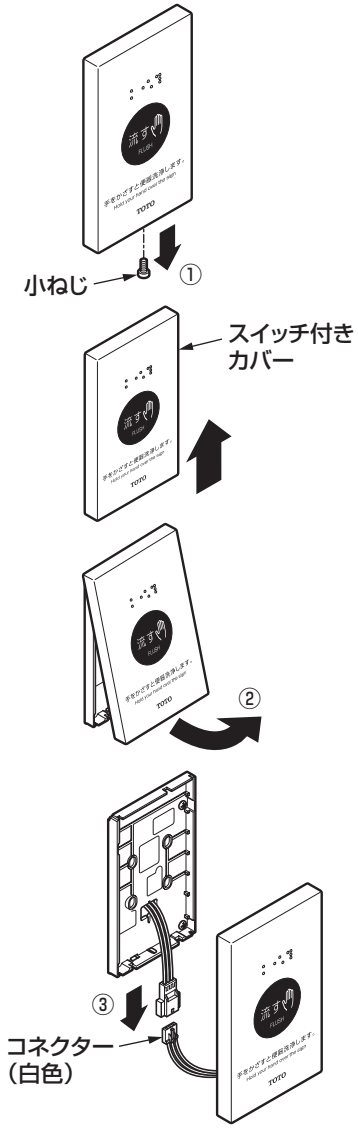
便器に2秒以上座り、ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。
ただし、1度洗浄しますと、無駄な洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

使用者に操作方法がわかるように、ラベルをスイッチユニットに近い壁面に貼り付けてください。

14 切替スイッチの調節

センサースイッチは以下の設定が可能です。
スイッチ付きカバーを取り外し、以下の設定を行ってください。

スイッチ付きカバーの取外方法



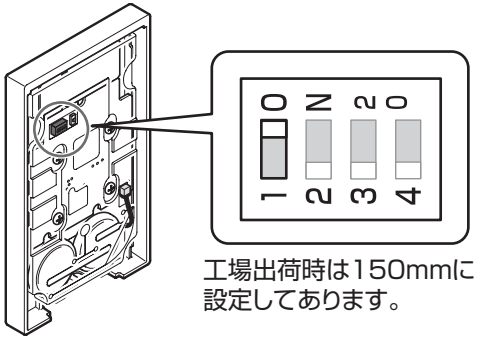
1. 小ねじを外す。
（六角棒レンチ:対辺2.5mm）

2. スイッチ付きカバーを上に持ち上げ、取り外す。

有線スイッチタイプの場合は、コネクターを無理に引っ張らないように十分ご注意ください。

3. コネクターを外す。（白色）
※有線スイッチタイプの場合

感知距離の設定（手かざしセンサー）

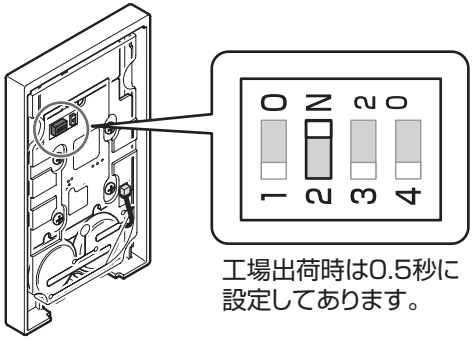


工場出荷時は150mmに設定してあります。

スイッチ1を切り替える。

快適にお使いいただけるように、工場出荷時に150mmに設定しています。
不用意な洗浄が発生する場合は、120mmに切り替えてください。

手かざし時間の切替方法

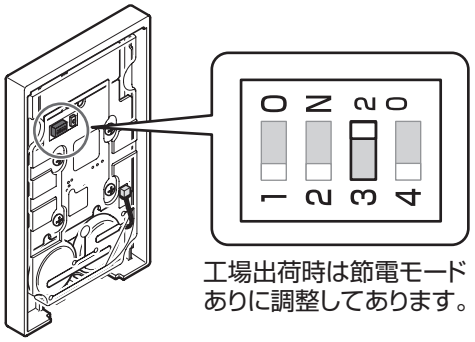


工場出荷時は0.5秒に設定してあります。

スイッチ2を切り替える。

工場出荷時は0.5秒に設定しています。
不用意な洗浄が発生する場合は、1秒に切り替えてください。

節電モードの切替方法（無線スイッチユニットの場合）



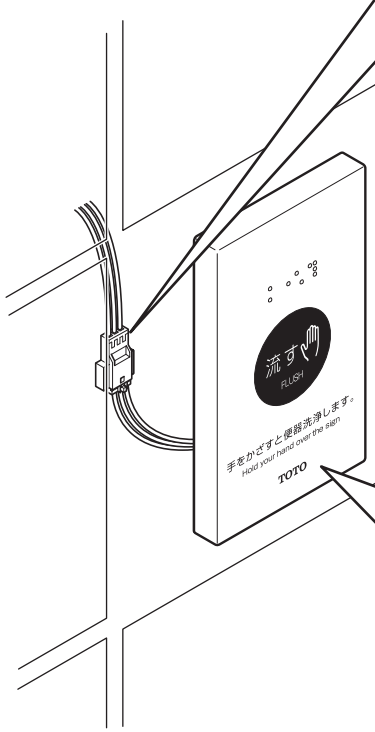
工場出荷時は節電モードありに調整してあります。

スイッチ3を切り替える。

長くお使いいただくために、工場出荷時は節電モードありに設定しています。
さらに使い勝手を向上させるときは、節電モードを切ってください。
ただし、電池寿命が約7年になります。

15 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



コネクターの確認

有線タイプの場合

コネクターが接続されているか確認してください。

コネクターは確実に接続していますか？

→ 10 「コネクターの接続」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

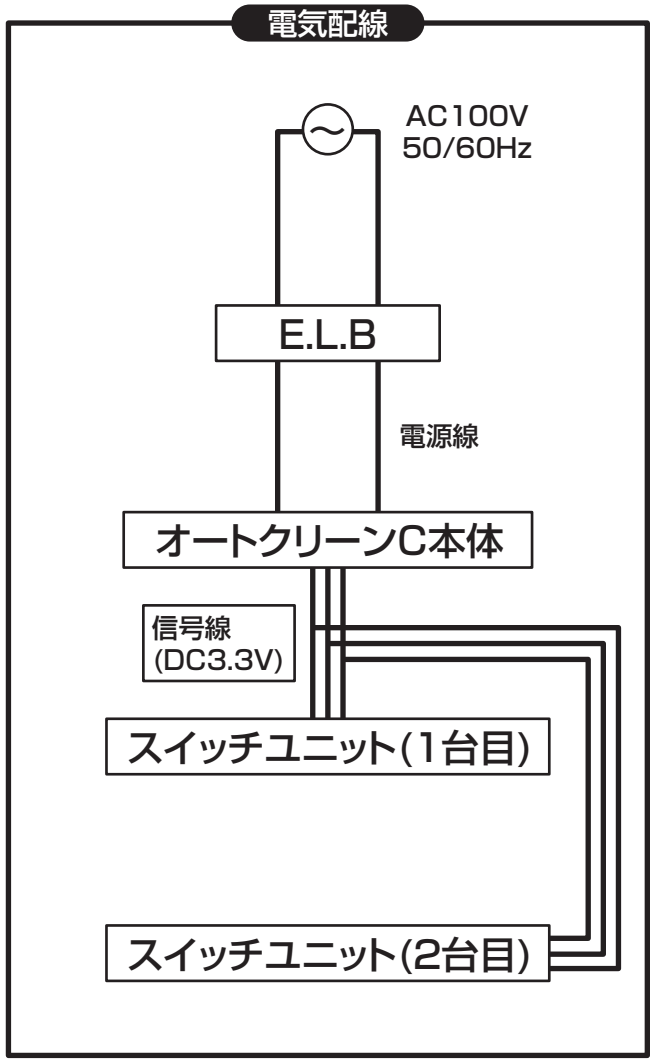
ハンガーはしっかり取り付けていますか?

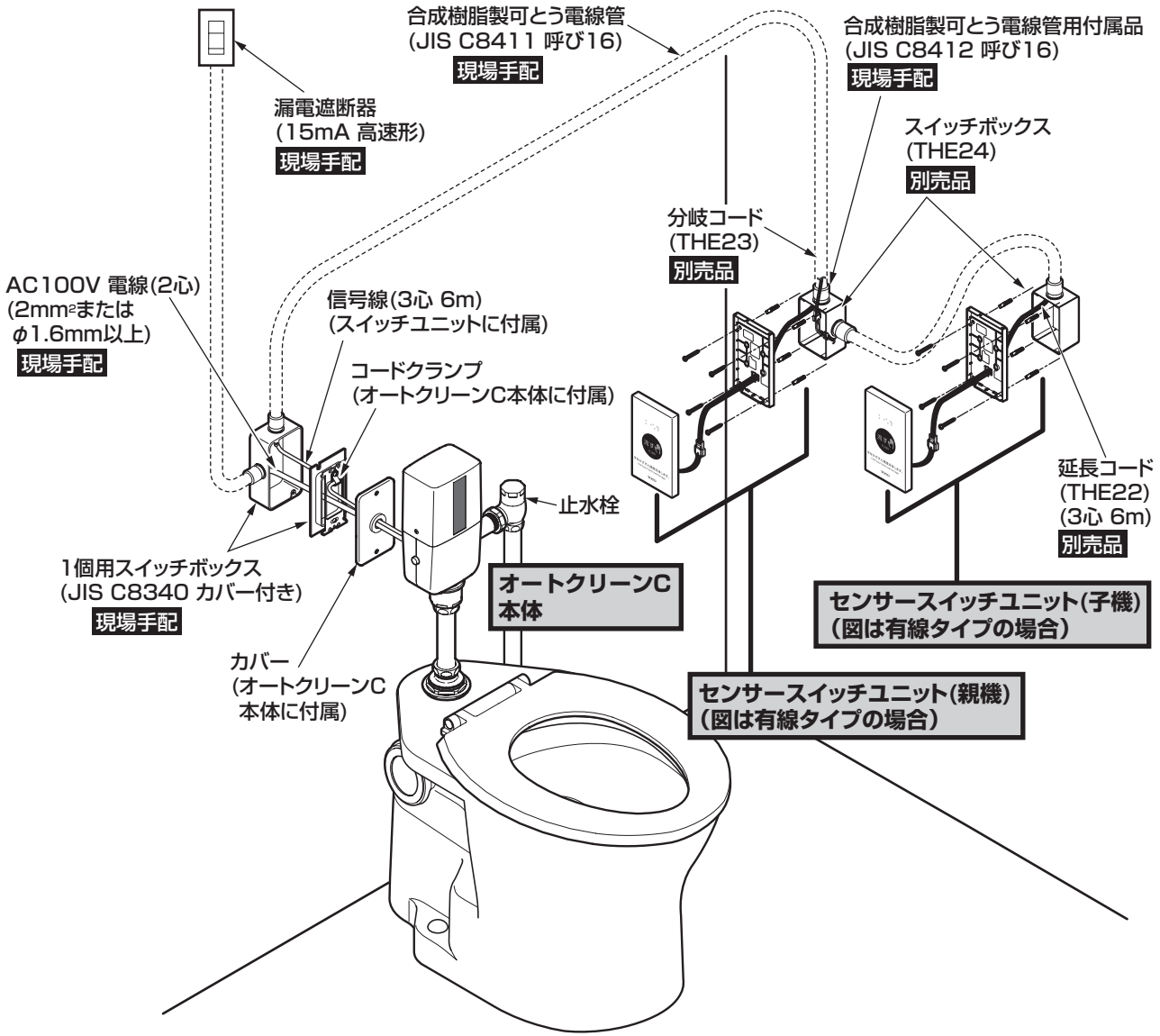
→ 6-2 ー 3 「ハンガーの取り付け」参照
→ 7 「ハンガーの取り付け」参照
→ 8 ー 2 「ハンガーの取り付け」参照
→ 9 ー 2 「ハンガーの取り付け」参照

●スイッチ付きカバーはしっかり取り付けていますか?
●小ねじはゆるんでいませんか?

→ 12 「スイッチ付きカバーの取り付け」参照

16 全体構成





※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。